

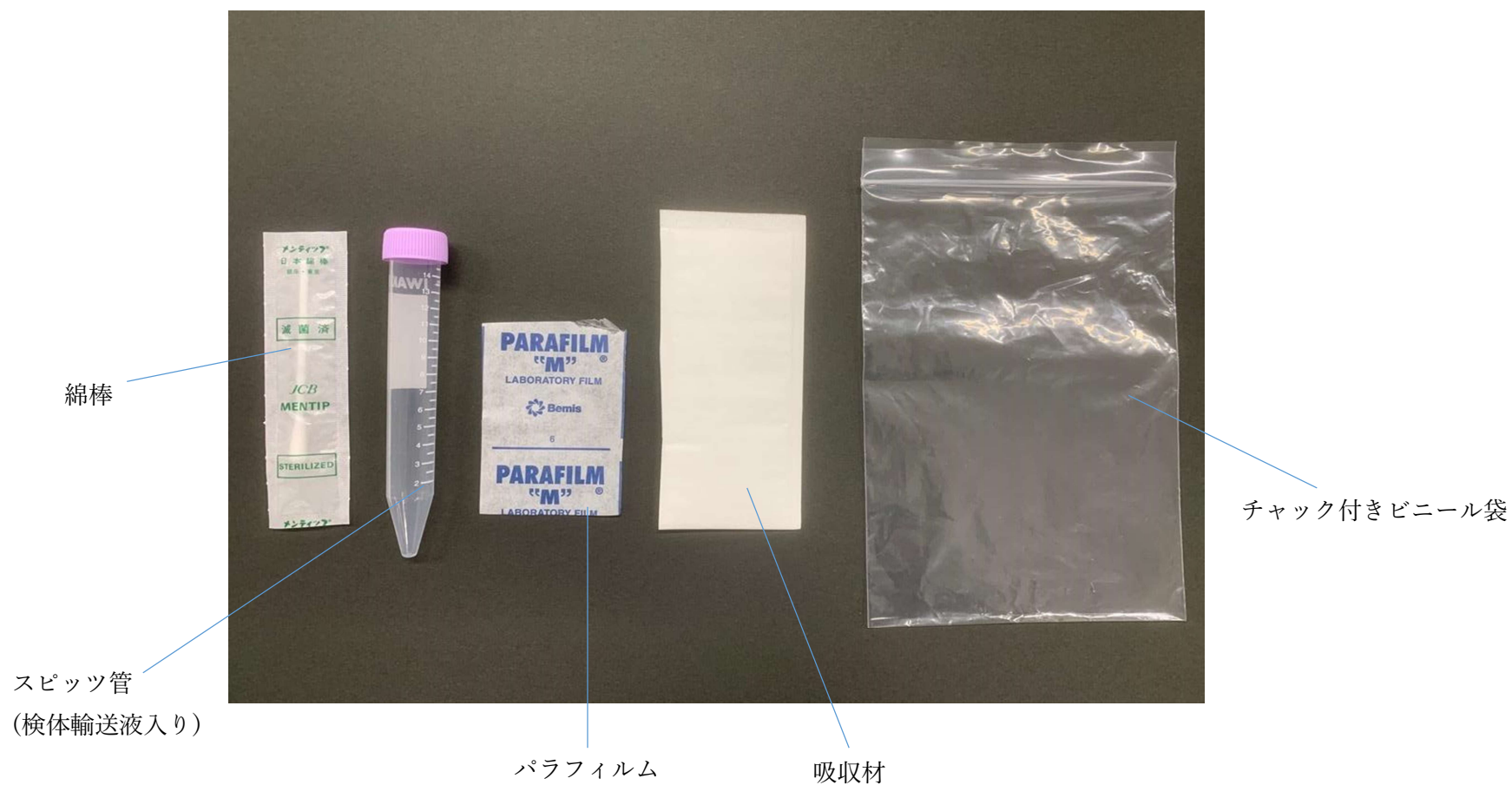
## 【検体の梱包方法について】

### ①検査資材の準備

必要な検査資材（綿棒、スピッツ管（検体輸送液入り）、パラフィルム、吸収材、チャック付きビニール袋）を準備します。

※ スピッツ管には、カナ氏名を記入（ラベルシール貼付け可）

※ 吸収材が手元がない場合は、吸収材での梱包は省いて問題ありません。



## ②検体採取

検体を採取した綿棒をスピッツ管（検体輸送液入り）に入れ、キャップをしっかりと閉める  
※検体採取後はスピッツ管を横にしないようお願いします。



## ③パラフィルムの貼付

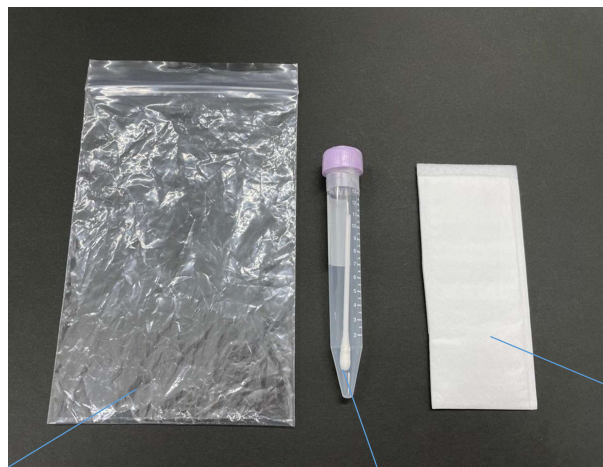
パラフィルムを伸ばしながら貼付し、キャップの隙間を密閉する



#### ④包装

③まで完了したスピッツ管を吸収材で梱包，チャック付きビニール袋に入れ，しっかり密閉をする。

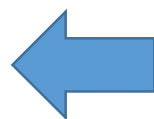
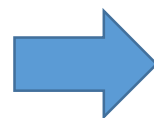
※ 液漏れ等を防ぐため，採取後のスピッツ管は立てた状態で保管する



吸収材

チャック付きビニール袋

パラフィルム貼付後のスピッツ管



## ⑤搬送容器への梱包

検体輸送液は冷蔵（4℃）での保管が必要となるため、容器に保冷剤等を入れて梱包してください。  
※スピッツ管が横にならないように、必要に応じて緩衝材等を入れて容器の隙間を埋めてください。



←検体数の数に応じて小さな容器に入れて搬送していただいてもかまいません。  
※スピッツ管を立てられる、保冷剤が入る容器をお願いします。



←×誤った梱包の例  
・スピッツ管が横になっている  
・保冷剤が入っていない